




## 審査結果報告書

平成 29 年 2 月 3 日

主 査 氏 名 岩 瀬 優 美 

副 査 氏 名 田 中 克 俊 

副 査 氏 名 堤 明 純 

副 査 氏 名 福 田 倫 也 

1. 申請者氏名 : DM13024 鈴木 静子

2. 論文テーマ :  
病院看護師における組織公平性と看護師職業性ストレスの関連

3. 論文審査結果 :

本研究は、看護師を対象に、組織公平性とストレスとの関係について調べており、日本においてほとんどこのような研究が行われていないことから、貴重な研究である。

460名の看護師を対象に、組織公平性尺度、看護師のストレスを測定する Nursing Stress Scale の日本語版、および性別、年齢、平均睡眠時間などの基本属性について回答を求めている。その結果、組織公平性の対人関係公平性とサポート不足との間に負の相関が認められ、組織において対人関係公平性が高いほどサポート不足を感じにくいことがわかった。また、手続き公平性と“準備不足、死との直面”との間にも負の相関が認められ、組織において手続き公平性が高いほど準備不足や死の直面に関するストレスを感じにくいことを明らかにした。一方、組織の分配公平性と準備不足との間に正の相関が認められており、この点については、質問項目の内容などを検討しており、十分な考察を行っていた。

本研究では、一般的なストレスを測定するのではなく、看護師ならではのストレスについて組織公平性との関係から検討した点において意義のある研究である。また、今後、看護師が看護ケアを十分に行うことができる組織体制を検討するうえで、本研究は重要な研究であると考えられる。

審査会では、測定した質問紙、またこの研究の背景などを含め、質疑応答について適切に応答していた。以上より、病院看護師における組織公平性と看護師職業性ストレスの関連について検討した本研究は、博士課程の学位論文としてふさわしいと考えます。